

がん診療連携パス

私のカルテ をご存知ですか？



熊本県がん診療連携協議会幹事会
相談支援 情報連携部会長

熊本大学医学部 産科婦人科学 教授

片淵 秀隆

熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会では、県内のいずれの地域に住んでいても、標準的ながん治療を計画的かつ継続的に受けることができる環境を整備することを目的に、地域連携パス(共同診療計画書)と情報共有をサポートするツールとして、全国に先駆け平成22年3月に熊本県がん診療連携パス「私のカルテ」(以下「私のカルテ」という)を策定しました。

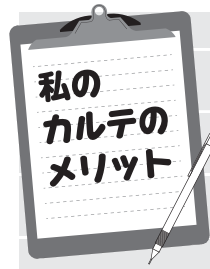
「私のカルテ」を利用して、専門病院の専門医と地域のかかりつけ医とで役割を分担しながら、がんの診療を行う地域医療連携を推進しています。

「私のカルテ」は、お薬手帳と一緒に患者さん自身が持ち歩き受診する仕組みになっており、お薬の内容やこれからの治療計画、検査の内容や検査データが分かるようになっています。また、緊急時のスムーズな対応や医療スタッフからのメッセージ欄にコメントが入ることで、患者さんの不安感を和らげる

ツールとしても役立っています。実際に利用されている患者さんを対象に実施したアンケート調査でも、通院時間や診療の待ち時間の短縮など、患者さんの負担軽減にも繋がっていることが明らかになりました。

熊本県には、5大がん(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝臓がん)、婦人科がん、前立腺がん、緩和ケア及び汎用型のがん診療連携パスがあります。「私のカルテ」は誰でも持てるわけではなく、専門医が患者さんの療養生活や診療に適していると判断した場合に、患者さんやご家族に説明し同意を得た上で利用することが出来ます。まずは、県内のがん拠点病院(国及び県指定の18施設)の相談支援センターにご相談ください。

「がん」で苦しんでいる患者さんやご家族の苦痛の軽減や療養生活の質の維持向上に寄与できればと願っております。



1. 自身が診療計画や病気を理解できます。
2. 地域でのかかりつけ医をもつことで、診察の待ち時間や通院時間の短縮につながり、負担を軽減することができます。
3. 診察の結果や医療者へ伝えたいこと等を書き込んでいくことで、大切な記録になります。
4. 共同の診療計画に基づき診療するため検査の重複等をさけることができます。
5. 県内どこに住んでいても同じ医療を受けることができます。

私のカルテの取組を県民の皆様にご覧いただくために、熊本県がん診療連携協議会県民公開講座「がんと向き合う私のカルテ」を、平成25年11月17日(日)13:00～くまもと県民交流館パレアで開催します。医師による講演の他、「私のカルテ」を使っている患者さんの声や熊本県内の「がんサロン」についてご紹介します。

●詳細やお問い合わせは

熊本県「私のカルテ」がん診療センター

熊本大学医学部附属病院 地域医療連携室内

TEL.096-373-5764

私のカルテ

